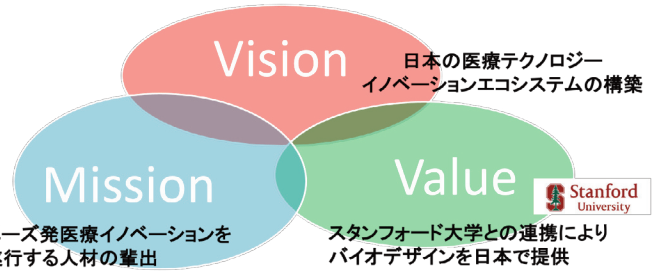




バイオデザインメソッドを用いた若手医療機器研究者の開発サポート

前田祐二郎<sup>1,4</sup>、杉本宗優<sup>2</sup>、桐山皓行<sup>1</sup>、柿花隆昭<sup>2</sup>、松井克文<sup>5</sup>、小野稔<sup>2,3,4</sup>

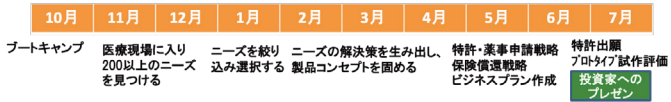
- <sup>1</sup> 東京大学医学部附属病院 トランスレーショナルリサーチセンター バイオデザイン部門
- <sup>2</sup> 東京大学医学部附属病院 心臓外科
- <sup>3</sup> 東京大学医学部附属病院 医工連携部
- <sup>4</sup> 東京大学 臨床生命医工学連携研究機構
- <sup>5</sup> 東京大学 産学協創推進本部 本郷テックガレージ



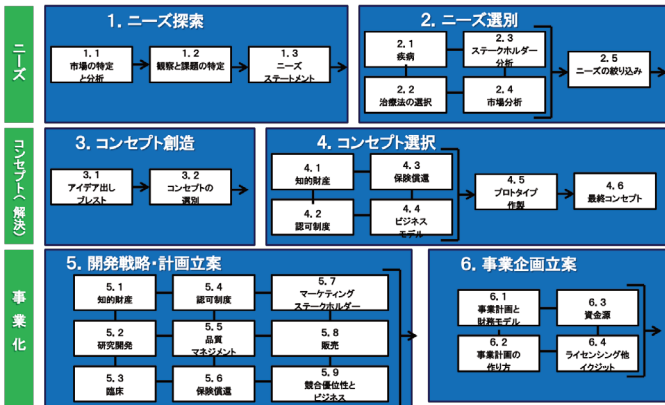
バイオデザイン フェロウシップ

医療現場のニーズから医療機器のシーズを創出するプログラム

- 医療機器開発においてリーダーとなりうる人材を育成するため、イノベーションに必要なスキルを、臨床現場のニーズを出発点として、実践的に習得するプログラム
- スタンフォード大学発の医療機器イノベーション人材育成プログラム、東京大学では2015年にスタート
- 医師・エンジニア・ビジネスの混成チームが、10ヵ月間でニーズ発掘からビジネスプラン作成まで実施
- 5年間のプログラム実施、15チーム、41名が修了し、起業11件、企業との共同研究2件



バイオデザイン プロセス



【東京大学バイオデザイン修了者が関係する起業事例（5年間）】

**株式会社Alivas**  
1回の治療で完結し効果が持続する全く新しい難治性便秘治療デバイスの開発  
- 令和元年J-Startup up退出 (内閣府)

**AMDAP** J-Startup

**Aillis**  
アイリス株式会社  
人工知能技術を用いた、高精度・早期診断対応のインフルエンザ検査法の開発  
NEDO 平成30年度「シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援」採択  
令和元年J-Startup退出 (内閣府)

**NEDO**

**プレモパートナー株式会社**  
医療機器開発のコンサルティング・マーケティングパートナー 協創インキュベーター  
光超音波技術の原理を利用した画像診断装置の開発を行う株式会社ルクソナスの事業戦略支援業務などを行う

**PREMO PARTNERS**

**株式会社SurfsMed**  
「Stand Up to Restore your First Step」、患者さんの初めの第一歩を痛みなく快適に過ごせるように、変形性ひざ関節症に対して低侵襲を目標とした新しいインプラントを開発しています。

**SurfsMed**

**株式会社Inopase**  
ワイヤレス給電システムを用いた革新的医療機器の開発を行う

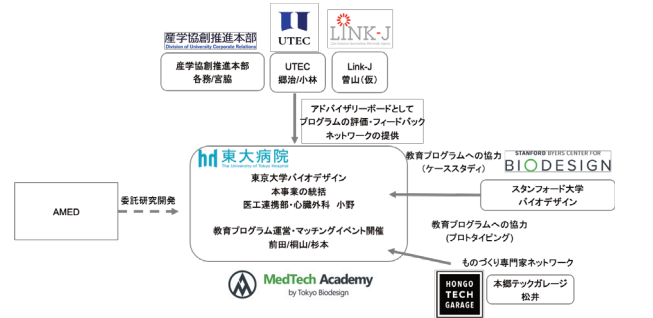
**INOPASE**

**PRECISION DENTISTRY**  
プレジジョンデンティストリー株式会社  
クオリティが標準化された歯科治療を提供する技術を開発

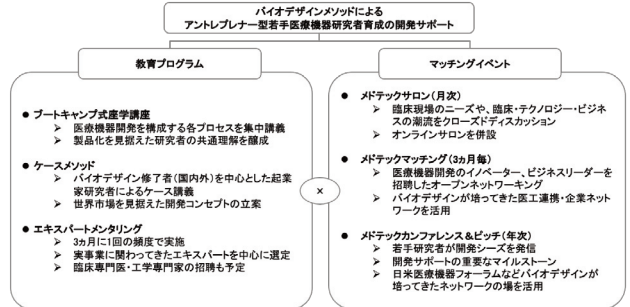
**PRECISION DENTISTRY**

バイオデザインメソッドを用いた若手医療機器研究者の開発サポート

全国の若手医療機器研究者へにバイオデザインメソッドを用いた開発・事業化サポートを提供



教育プログラム・マッチングイベントから構成される開発サポートを通じて、ニーズ起点に立ち、課題ドリブンの開発を進める能力を持つ若手医療機器研究者を育成する



若手研究者の研究開発をサポートし、事業化に向けた研究開発コンソーシアム形成を伴走支援

